

報道関係各位

公益財団法人 笹川スポーツ財団

地方創生はチャレンジデーから！ チャレンジデー2016 開催130自治体の対戦組合せが決定！

道内から16の自治体を実施 敗れた場合は、相手自治体の旗を掲揚し健闘を称える

「スポーツ・フォー・エブリワン」を推進する笹川スポーツ財団（所在地：東京都港区赤坂 理事長：小野清子 以下：SSF）が主催する、日本最大規模の住民総参加型スポーツイベント『チャレンジデー2016』の実施自治体の対戦組合せが決定いたしました。

チャレンジデーは、毎年5月の最終水曜日に世界中で実施される住民総参加型スポーツイベントです。住民が日常的に運動・スポーツを楽しむきっかけづくりを目的に開催されます。人口規模がほぼ同じ自治体同士が15分間以上継続して運動やスポーツを行った住民の参加率を競い合います。

敗れた自治体は、相手の旗を庁舎に掲揚し健闘を称えます。この対戦をきっかけに自治体間で継続的な交流が生まれています。

対戦組合せ 北海道エリア

愛別町	VS.	東村(沖縄県)	名寄市	VS.	三好市(徳島県)
芦別市	VS.	山北町(神奈川県)		VS.	阿久根市(鹿児島県)
枝幸町	VS.	小坂町(秋田県)	東神楽町	VS.	あさぎり町(熊本県)
標津町	VS.	南部町(山梨県)	美唄市	VS.	湯河原町(神奈川県)
知内町	VS.	伊江村(沖縄県)	深川市	VS.	開成町(神奈川県)
新得町	VS.	八峰町(秋田県)	富良野市	VS.	にかほ市(秋田県)
鷹栖町	VS.	八郎潟町(秋田県)	本別町	VS.	喬木村(長野県)
苫前町	VS.	新庄村(岡山県)	幕別町	VS.	宿毛市(高知県)
			芽室町	VS.	豊後高田市(大分県)

【担当者コメント：対戦自治体の交流について】

多くの自治体が、チャレンジデーを通じた住民の健康づくりへの意識向上や健康寿命の延伸、将来の医療費の軽減などを目的に掲げ、独自に様々な運動・スポーツプログラムを実施している。自治体間では、チャレンジデーの対戦をきっかけに、互いの自治体への表敬訪問や子どもたちの交流事業などが行われている。実施自治体にとって本事業が、健康・スポーツ施策上の課題の共有や、課題解決に向けた協働の機会となることを期待している。

【笹川スポーツ財団 地域連携推進リーダー 有田孝行】

■チャレンジデー2016 開催概要

【開催日】 2016年5月25日(水) 午前0時～午後9時

【勝敗・ルール】 人口規模がほぼ同じ自治体同士が、15分間以上継続して運動やスポーツを行った住民の参加率(%)を競う。
対戦相手に敗れた場合は、相手自治体の旗を庁舎のメインポールに1週間掲揚し相手の健闘を称える。

【主催】 笹川スポーツ財団・全国130自治体